

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立新庄小学校学校協議会

## 1 総括についての評価

年度目標をおおむね達成した。

- ・いじめについては、してはいけないと思う児童の割合が87.5%と高い水準であった。今後もいじめはどこにでも起こりうるという視点に立ち、継続指導していく。
- ・不登校対応については、昨年度と人数は変わらないものの、家庭と連絡をとり合ったり、関係機関と連携を図ったりすることができている。今後も登校できるように働きかけを密に行っていく。
- ・授業において、話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできたかの問いに対して、肯定的な回答が昨年より下回った。今後も、主体的対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を取り入れた授業を展開し、授業力向上及び学力向上につなげたい。
- ・運動やスポーツについて、すきと回答する児童が昨年度よりも多くいた。今後も体力強調週間を取り入れ、楽しく体を動かす取り組みを行う。
- ・ICTの取り組みにおいて、デジタル教材を活用した朝学習を全学年で定着できた。また、年度中に端末の持ち帰りを進めることができた。
- ・働き方改革を推進し、時間外勤務を削減することができた。今後もワークライフバランスを意識し、取り組んでいく。

## 2 年度目標ごとの評価

### 年度目標①:安全・安心な教育の推進

・年度当初と年度末に実施する校内調査において、「校内で自分からすすんであいさつができていますか」の項目に肯定的に答える児童の割合を高い水準に保つ。

### 年度目標②:未来を切り拓く学力・体力の向上

・令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外にふだん1日あたりどれくらいの時間、勉強していますか」の項目について、「30分以下もしくは全くしない」と答える児童の割合を前年度より減少させる。

### 数値結果

- ① 令和7年度当初 89.4%⇒年度末 87.7%
- ② 令和6年度 20.1%⇒令和7年度 19.7%

## 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・おおいに働き方改革を進めてほしい。先生たちに元気に働いてほしい。
- ・子どもたちは、元気にあいさつができるようになってきている。安全に登校できるように、交通ルールを守れるように指導してほしい。